

広報 やまの

No.133

2022.12.25

山野地域づくり協議会

南砺市飛騨屋20番地

TEL 0763-82-4510



シリーズ「山野再発見」



安室

安室自治会長 上田 彰

安室地区は、旧井波町の北部に位置し、北は専勝寺、南は飛騨屋、西は軸屋に接している地区です。

現在六十五世帯が住む安室は、安室(四十七世帯)、戸保家(九世帯)、利屋(九世帯)の三集落で構成されています。

安室地区は、旧井波町教育委員会が作成した郷土史の冊子「南山見、高瀬、山野」によると、庄川の流れが東に移り、地域が安定期に入った天正から慶長年間(一五七三〜一六一五)にかけて安室、戸保家、利屋が村立されたとみられています。

安室は、「あじつ」「あづち」「あぢち」と三通りの読み方があります。旧町教委が慶長年間に作成された「越中古絵図」を調べたところ「アセチ」と書かれてあり、日本国語大辞典によると「安室」は「庵室」の意味を持つという。口碑によると後醍醐天皇の親王がこの地でしばしの間「庵室」を設け、戦乱を避けたという言い伝えから「安室」になったという説もあります。

安室には、一九七三(昭和四十八)年に過疎化により閉村の利賀村栃原から、当時九戸の住民が移住されました。その後、昭和四十九年に栃原八幡宮は安室神明社に合祀されました。圃場整備後の昭和五十一年には戸保家が安室と合併しました。

戸保家は、『山野小学校史』によると「南の大風に佐竹家(五郎兵衛)の板戸を柱に縄しぼりにして防風につとめたと言いはやされた故事に因んで戸保家(戸で家を保つ)を村名にした」と言われています。

利屋は、戦国時代に刀剣の研師が多く住んでいたので、地名になったと言われられています。利屋には上質の井戸水があり、その水を使って研いだ刀剣は切れ味も良かったと言われています。なお、利屋は常会(自治会)では安室と一緒になっています。また、安室では、平成十九年度から環境保全事業に取り組み、公民館前道路沿いに花の植栽、そして用排水路の保全修理などを全戸が出役して行っています。



植栽事業



利屋神明社



戸保家神明社



安室神明社

高屋

高屋自治会長 村岡 豊彦

昭和四十八年(一九七三)に、古宮から今の地に移転されて百年目にあたり高屋神明社御遷座百年祭が盛大に執り行われた。これに際し記念誌が発行され、その中から高屋の歴史を探りました。

延年元年(一三三六)高屋正が九州日向國(宮崎県)高屋から、従者数十人と共に当地に留まり、四方の地を開墾して、一大邑を開き、生地の名を受けて高屋と称したとある。

高屋神明社は、古宮の一本杉(神社境内木)のそばに在った。古宮といえ、昔は緑樹が繁り、昼なお暗き所で数本の河川の間の高丘の山林地帯、その面積およそ二町歩、これが河川沿いに細長く部落を縦断していて病害虫の発生源で通風採光が悪く、稲作にはいつも悩まされていた。昭和二十二年から二十八年にわたる二万石用水の大改修によって河川が一本化され、現在の主流として流れている。この記念碑が一本杉のそり立つ高台で建設された。小川はいずれも廃川となり、高屋の長年の念願であった開墾事業が昭和三十一年、当時の町長が国指定の新農村建設総合対策事業に組入れ、国庫補助事業として着工が始まった。

さて高屋神明社遷座百年祭には、余興として餅まき、道化獅子舞、仮装行列、夜高行燈引廻し等、二十名程の青年会員で盛り上げたことが蘇る。あれから早五十年、二十七戸あつた家も二十四戸に減り、住民も少子高齢化が進んではいるが、令和五年に予定されている高屋神明社御遷座百五十年祭を機に長く深い高屋村の歴史を絶やすことなく活力ある部落にしたいものである。



一本杉

記念碑

上：現在の二万石用水横にある「古宮の一本杉」と「二万石用水改修事業竣工記念碑」

下：現在の「高屋神明社」



特産物を活かした地域づくり

地域活性化部特産委員会

やまのいもっこ倶楽部の3年目

令和元年度の富山県の「話し合い促進事業（県助成）」から生まれた「里芋で元気なまちづくり」プロジェクトは、「やまのいもっこ倶楽部」としてスタートし今年で3年目を迎えました。

今年では専勝寺地内の圃場をお借りして約17aに里芋を植え付けました。5月上旬の植え付けは予め高畝・マルチ張りを行い、9月にかけては除草・草刈・マルチがし・培土かけなどのその時々に必要な作業を倶楽部員総出で行いました。10月に入り試し掘りを行うと、2L以上のサイズが多く大変良い出来となりました。

10月22、23日には「里芋収穫体験会」を実施しました。この企画当初、いろいろと心配していましたが、南砺市や砺波市などの広い範囲から300人ほどの参加者があり大盛況でした。

参加者の方から、「先日集落の人と話していたら、この前の里芋収穫体験での里芋が大変美味しかったと話が盛り上がりました。『アクもクセもなく短冊形に切ってみそ汁にしたら、とろみがついてとてもおいしかった、こんなにうまい里芋何年ぶりかね？』といった話をしました。昔の里芋の懐かしい味を思い出しています」と、嬉しいお便りがありました。

また、10月19日には山野保育園の園児・保育士さんと、サツマイモ掘りを実施しました。「参加園児は年長さんだけの予定」でしたが、園児たちは大喜びで予定以上の畝を掘り取りしましたが、年少・年中さん達も加わり大いに盛り上がり、お礼の言葉を頂きました。

4年目となる来年も専勝寺公民館そばの圃場で里芋栽培に取り組みます。面積は40aに倍増します。早速土壌改良剤を散布しました。「やまのいもっこ倶楽部」の活動に皆様のご支援と多くの参加をあらためてお願いいたします。



「とやま地産地消

優良活動賞」

『優秀賞』受賞

山野地域づくり協議会は「住民主体での里芋栽培」・「ふれあい広場やまのでの農産物直売」・「山野いも工房の弁当販売」の活動にたいして、富山県から頭書の優良活動賞を受賞しました。これも、それぞれの部門で頑張つて下さっている皆様のおかげです。ありがとうございます。



ふれあい広場繁盛してます

里いもや野菜を目当てに、遠くからも来られています

毎週土日の午前中
11月は15時まで

野菜や加工品など、出品大募集中です

骨密度測定やっています

月イチ名物 無印良品の出張販売
(毎月第二土曜日)

懐かしの「ねかべっつい」で
焼き芋焼いています

無印良品 松川さんより

手探り状態でやっていますので、欲しい商品がありましたら、お気軽に声をかけてください。

3年ぶいの山野地区『防災訓練』

11月13日、朝から交流センター玄関前の駐車場、スポーツ室をメインに防災訓練が行われました。訓練は2種目行われ、非常食炊き出し訓練と初期救急救命訓練を、順番ながらに行いました。その後、参加者の質問に消防署の方から答えていただきました。

★ ★ ★ ★ ★
心臓マッサージ・AED使用時のQ&A
Q 救急車が到着するまでマッサージは必要ですか。

A 倒れている人の近くに居る人や家族などにマッサージの協力をお願いしてはいます。怖がらずに対応してください。

Q 心臓マッサージしているときに肋骨は簡単に折れますか。

A 簡単に折れます。折れてしまうことよりも、命を救うことを優先して下さい。

Q AED到着が間に合わない時は、どうしたらいいですか。

A 到着するまで心臓マッサージを続けてください。

Q AEDは普段どんな場所にありますか。
A 公共機関、銀行や学校、交流センターなどに設置されています。

「救急隊からのお願い」

- ① 救急車を呼ぶときは
- ② 火事と救急の区別
- ③ 住所・所在地
- ④ 目標となる建物
- ⑤ 救急が必要な情報をできるだけ詳しく話す。(出血していて意識がありません等)



非常食炊き出しレシピ

(ごはん)

- ① 釜に7〜8分目くらいのお湯を沸かす。
- ② 耐熱ビニール袋にコメと水を入れる。(普通米一に水一の割合) 無洗米は水を2〜3割増しにする。
- ③ 調味料を入れる。(梅干し・さつまいも・炊込みご飯の素・塩・さざなみ昆布・しょうゆ・山菜など)
- ④ 口を輪ゴムで締める。またはきつく結ぶ。(横にして気泡が5円玉以下になるように)
- ⑤ ①のお湯が沸騰したら、火傷をしないよう釜のふちから滑らせるように入れ30分間煮る(沸騰を維持)
- ⑥ 炊上がったら取り出し、ざるに上げ保温状態で10分ほど蒸らす。
- ⑦ 出来上がり。

(日本赤十字社富山県支部)



「交通安全 マスコット」配布
 11月9日、シヨップングセンターアスモで防災・安全部と南砺市交通安全協会山野地区支部共催で、山野ボランティアグループの皆さんに作って頂いた交通安全マスコットを、買い物に来られた皆さんに配り、交通安全を呼びかけました。「粘り強く安全に」をモットーに『山野のさといも』も配りました。



コロナ禍のなかで!! 各自治会・各団体の活動

各自治会の活動

山斐

第1回爽秋の集いを歌謡ショーやビンゴ大会も交えて10月に木彫りの里で開催。

岩屋

11月に獅子舞を3年ぶりに開催。

飛騨屋

10月に獅子舞を3年ぶりに開催。時間を短縮し、神明社での奉納のみとした。



高屋

3年ぶりに納涼祭を開催。今年には主旨を変えて、子ども達の「楽しかった夏休み」として花火大会や宝探しを実施。

坪野

坪野西部の獅子舞を東部中部と合同で実施。コロナ禍のため、時期をずらして実施。

各団体の活動

坪野青年会

獅子方若連中として、獅子舞奉納。

岩屋青年

義勇団

獅子方若連中として獅子舞奉納。



山野老人クラブ長寿会の活動

高齢者学級を開講。年3回の講座を開催。日帰り研修はコロナ禍のため中止。



カローリング山野チーム

富山県チャンピオン大会において堂々上位入賞(十五位)

各地区老人会の活動

飛騨屋恵比須会

広い交流センターを会場に、飲食を伴わない研修会を4回開催。

岩屋大黒会

ラジオ体操、法話会、健康教室、花壇の手入れ、花鉢の配布などを実施。



交流センター—斉清掃

山野地域づくり協議会 日常活動のひとこま



ふれあい草刈奉仕



パークゴルフ大会



南砺市防災訓練



お盆慰霊祭



毎週火曜日
午後

「だれでも・なんでもサロン」開催中

大歓迎

お気軽にどうぞ！

毎週火曜日、交流センターを開放し、「だれでも・なんでもサロン」と称して自由に交流センターを利用する日を設けています。クラフトテープで籠・バッグ・アクセサリなどを作ったり、おやつ作りをしたり、アイウエーブの指導で認知予防のゲームや軽運動をしたりして、楽しんでいきます。また健康マージャンで手指や頭を働かし、認知予防を図っています。井波図書館から本を借り出しミニ図書館も開いています。

どなたでも大歓迎ですので、是非おいでください。お待ちしております。



だれでも・なんでもサロン

「干し芋づくり体験会」

おいしかったよ～



「干し芋づくり体験会」

回覧で皆様にお知らせしたように、「だれでも・なんでもサロン」の一環として、11月15日に、「干し芋づくり体験会」を開催しました。参加者は10名ほどでしたが、皆で協力しながら蒸かしたり、丁寧に皮を剥いたり、ときにはつまみ食い（味見）をしたりしながら、和気あいあいと調理を楽しみました。

蒸かした芋は、各々自宅に持ち帰り干し上げますが、さてどうなりますことやら…。(美味しくて、干しあがる前に、食べてしまった！と言う方も…)

「米寿」
おめでとうございま

10月30日、令和4年度の米寿表彰の伝達が行われました。今年もコロナ感染症防止のため、米寿者の皆さんのご自宅を山野地域づくり協議会長と健康福祉部長が訪問し、南砺市長のお祝い状を伝達しました。いつまでもお元気で、長生きされることをお祈りしております。



スポーツ室「床」の改修
工事が行われました!

9月にスポーツ室床の改修工事が行われ、ツヤツヤで傾きがなく、滑りにくい床になりました! 「わいわい健康スポーツDAY」や「だれでもなんでもサロン」や「カローリング倶楽部」「アスリートスクール」など、皆さんに快適に使っていただいています。



山野の地域づくりに積極的に参加しませんか?

「山野地域づくり協議会」の役員(ボランティア)を募集します

山野地域づくり協議会の役員任期の満了に伴い、令和5年4月からの新たな役員(任期2年)を下記のとおり公募します。現在の活動状況は下記ホームページを参照ください。

<https://yamano-kc.7104.info/>

1. 募集する役員

- ①会長 1名、②副会長 2名、③文化・スポーツ交流部長 1名、④健康福祉部長 1名、⑤地域活性化部長 1名、⑥防災・安全部長 1名

2. 応募資格 山野地区に住所を有する者(移住を予定している者を含む)

3. 応募方法

「応募用紙」を山野地域づくり協議会事務局(山野交流センター 82-4510)に提出してください。《締切り: 令和5年1月31日(火)》

4. 選考方法 応募締切り後、面接日程等について案内します。

にこにこふれあい
パークゴルフ大会!

9月25日の快晴のもと、庄川清流パークゴルフ場でパークゴルフ大会が開かれました。あいにく、順延になった井波中学校の体育祭があり参加者は少な目でしたが、秋晴れの下、気持ちよくラウンドし日頃の心身の疲れを発散していました。

編集後記

コロナ禍も4年目に入りますが、各地に行事・イベントも戻ってきた様子です。しかしながら、第八波の声も聞かれるこの頃です。当地区も広報にあるように、たくさんさんの催し物があります。行事を待ち望んでいる方々も、大勢いらつしゃることでしよう。今後ますます以前のように賑やかになるように思います。

また、来年は役員改選があります。少子高齢化の中、どのような体制になるのか地区で暮らす我々も、大変関心があるところです。

最後にご家族の皆様方が穏やかな新年をお迎えくださいますように、お祈り申し上げます。

(広報委員会)

